

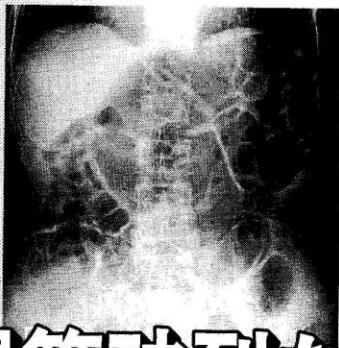
6月29日は、48年前、最初で最後の来日を果たした「ビートルズの日」。先月、元メンバーのポール・マッカートニー(71)の公演が中止になり、入院中に腸捻転の手術を受けたことが分かった。腸捻転とは、どんな病気なのか。

S状結腸に多い

腸捻転は、何らかの原因で腸がねじれてしまい、腸の通過障害を起こす病気。それほど発症頻度は高くないが、高齢男性に起りやすいといわれている。

この時季
この気になる
この症状

消化器外科専門医で山村クリニック(東京・茗荷谷)の山村進院長=顔写真=が説明する。「大腸はある程度固定されていますが、倒的に多いのがS状結腸に起こる腸捻転です。この部



大腸のガスで拡張している腸管×線写真

腸管破裂なら致命傷も自覚症状で早期発見を

《S状結腸の腸捻転の特徴》

- ★高齢男性に起りやすい
- ★症状として、腹部膨満感、嘔吐、便秘、激しい腹痛などが現れる
- ★大腸内視鏡の処置で治るが再発が多い
- ★根治手術をすれば再発率が5%以下になる

根本を支点にしてクルリとねじれてしまうことがあるのです。高齢者は大腸の動きが弱いため便秘を起こしやすく、腸壁も薄くなるので便がたまりやすい。男性は骨盤が狭く、ねじれ

【致命的なケースも】
S状結腸の腸捻転は、腹部の膨満感と嘔吐(おうと)、便秘が主症状になる。

「腸がねじれて血流が止まる」と、激しい腹部の痛みなどの虚血性の症状が現れます。ただし、高齢者は痛みを感じない人も多い。重症のケースで、血流障害から腸管が壊死(えし)したり、腸管が破裂して腹膜炎を起こすと致命的となる場合があります。

嘔吐や腹痛などの激しい症状が出ていないくとも「便秘をしていておなかが張るのに、おならがまったくない」、そんな異変があれば早期発見のキーワードになる。検査は普通の腹部X線で、すぐに診断がつくという。

【まずは内視鏡で戻す】
腹膜炎や腸管壊死を起こして

た腸が自然に戻るスペースが少ないので、女性より起りやすいと考えられている。

【内視鏡の吸引機能でねじれた腸内の内容物を吸い取り減圧し、それからS状結腸を元の位置に戻します。成功率は76~90%

多くは内視鏡で治ります。一方、腹膜炎や腸管壊死を起こした場合の緊急手術症例では手術死亡率(3~27%)が高くなります。ただし、一度内視鏡で治しても、のびのびになっている腸管の再発率は高い。手術リスクが高いなければ、引き続き根治手術が検討される。

「根治手術は、腸管を20~30cm切って短くします。高齢者は開腹手術より、術後の負担が少なく、回復が早い腹腔鏡下手術が推奨されます。術後の再発率は5%以下と報告されています」